

新山協ニュース

第10号 新潟県山岳協会

発行者 鈴木敏雄

昭和五十五年度

日山協 総会

日本山岳協会では、昭和五十五年度総会を五月二十五日東京岸体育館で今井田会長をはじめ、全国都道府県山岳連盟(協会)が出席して開かれた。

議事は鎌田副会長の司会で定款に基づき、定足数、出席者確認ではじまり、今井田会長の挨拶……

昨年十一月の臨時総会で、故渡辺前会長の後任に就任してから六か月が過ぎ、私として初めての総会をここに迎えました。この六か月間、日山協を取りまく諸情勢は、国内的にも国際的にも非常に厳しさを増しております。

国際情勢の政治問題は別として、現在置かれている日山協の立場、財政再建問題、事務局体制の確立、又昨年前渡辺会長の逝去に次ぎ、今年一月、永年事務局長の重責を勤

して責任を痛感している。

次いで監事監査結果報告があり質疑応答、審議の結果万場一致可決承認された。

第三号議案 昭和五十五年度事業計画案(後記)、関連して第四号議案、会計収支予算案を鎌田副会長、山崎常務理事より更に関連の第五号議案、定款の一部変更、第六号議案、参与の推挙について一括提案説明する。

今年度の事業活動は、昨年度の事業成果を踏まえ、又健全財政樹立の見地から事業規模の特に目新しい事業活動

第一号議案 昭和五十四年度事業報告を山崎常務理事より報告。関連して鎌田副会長より昭和五十四年度会計収支決算を報告。

昭和五十三年度決算で、実質七百四十万円の赤字決算であったが、経費節減その他財政収支を図りながら事業の推進と発展のため、事業収益等十分考慮しなお二百三万余円の赤字収支となったことは残念であると同時に、担当と

催し、採点要項の一部改正、

山岳競技の手引を一部改訂し、得点種目移行の一般競技として他の競技団体、日体協ならびに文部省に対応することと

したい旨説明、質疑応答の後原案どおり事業計画と事業予算、総額六千四百十三万余円を承認可決した。

次いで定款による特別会員の入会承認、常務理事となる六名(山崎安治、森川洋祐、山田健三、広島三朗、田中文男、他一名は会長一任)を特別会員として入会することに

第八号議案 役員改選 毎年半数ずつ交替する理事十一名が交替となるが、関東Ⅱ地区で山梨、新潟が交替県で、山梨は山寺義雄氏、新潟は鈴木敏雄が理事に選出され承認された。

以上で主なる議事を終了しその他としてやはり当面する国体問題に移り、表彰式の時間短縮、賞状授与、優勝トロフィの授与など話題となる。又、ネパール政府からカトマ

ンズに山岳博物館の建設に伴うアドバイスと資金援助。ソ連岩登り競技の招待も、オリンピック不参加問題に頭を痛める日体協の顔色を伺いながら一時留保すること。中国山岳協会幹部一行の訪日スケジュールなど当面する国際間

の話題もつきぬまま、最後に、八月六日七日、本県妙高高原町で開催の第二十二回自然公園大会に足を延ばして妙高、火打と探勝願い、地酒に山よし、人よしの越後で、懐古談に花を添えて戴ければと県山協の立場から企画の一端を披露し、万場拍手で無事総会を終了した。

(鈴木敏雄)

日山協

事業計画

(第三号議案報告)

- 一 登山技術の向上と普及
 - ① 全国高等学校登山大会の共催
 - ② 文部省登山研修会の後援
 - ③ 公認指導員検定会実施
 - ④ 公認指導員の養成と拡充
 - ⑤ 指導員の教育と研修
 - ⑥ 主任検定員の研修会
 - ⑦ 指導委員総会の開催
 - ⑧ 海外登山技術研究会の開催
 - ⑨ 岩登り研究会の実施
 - ⑩ 山岳高層気象放送の実施
 - ⑪ 日英岩登大会
 - ⑫ ソ連岩登り大会
- 二 登山道徳の啓蒙と普及

- ① 壁新聞の発行
- ② 全日本山岳写真展の後援
- ③ 三山岳遭難の予防
- ④ 遭難事故防止のための研究指導調査
- ⑤ 山岳共済の普及
- ⑥ 救急員講習会
- ⑦ 遭難対策研究会の開催
- ⑧ 全国山岳遭難対策協議会の共催
- ⑨ 海外登山遭難対策研究会の開催
- ⑩ 四山岳自然保護活動の推進
- ⑪ 自然公園大会の協賛
- ⑫ 山岳自然破壊防止活動の推進
- ⑬ 自然保護委員総会の開催

- ④ 全国清掃登山月間の実施
- ⑤ 日米環境会議への参加
- ⑥ 五国民体育大会
- ⑦ 第三十五回国体山岳競技の運営
- ⑧ 第三十六回以降開催県への指導 滋賀 島根 群馬
- ⑨ 得点種目実施
- ⑩ 国体委員総会の開催
- ⑪ 地区別審判員研修会の開催
- ⑫ 開催年度審判員研修会
- ⑬ 全日本登山体育大会
- ⑭ 第二十一回全日本登山体育大会の実施
- ⑮ 海外登山
- ⑯ 海外登山計画の審議と指導
- ⑰ 世界アルピニスト会議への派遣
- ⑱ 海外登山研修会
- ⑲ 本年度海外登山隊報告書の編集と発行
- ⑳ 中国登山協会の招待

七、出版

① 登山月報の発行 ② 海外登山技術研究会報告書の発行 ③ 各種事業報告書の発行

(開催日、開催地、主たる内容等を省略)

イグルー講習参加報告

むささび会 加藤 明文

三月一日二日、県山協冬山講習会に合わせて京都大学学士山岳会、土倉九三氏によるイグルー講習があり藤島先生初め六氏の方々と共に参加させていただいた。

一日の夜、イグルーについてのお話があり今まで本による知識しか知らない私は基礎からの仕直しとなった。

二日、百聞は一見にしかず、菅名岳山麓において実技講習となった。雪洞については知っての通り雪を掘って造るものであるが、イグルーは雪面上に立てるもので雪洞と違い、労力がずっと少なく且つ時間がかからないと云う利点がある。丈夫さにおいて気になったが雪洞の適した所であれば強く造れると思われる。道具は、ノコギリを使用し四人パーティで二〜三ヶ、スコップは作成において直接必要

無いので無くとも良いが、パーティに一ヶ有れば間接的に便利である。

次に作成に入りますが、大きく三つの重要ポイントがあり、この一つでも欠けるとイグルー作成は出来ないと云って良い。それは、

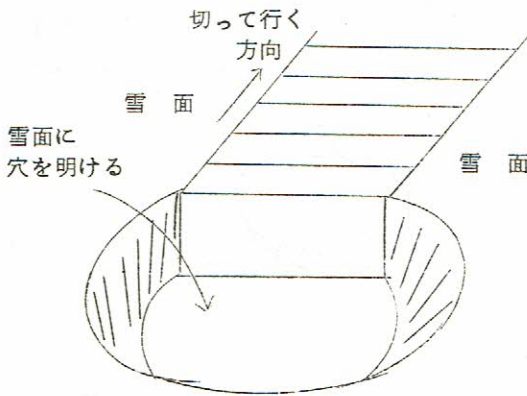
- 一、雪質が適している事 (見つける)
- 二、ブロックの切り方
- 三、ブロックの積み方

以上三点でこれ等を中心に報告させていただきます。

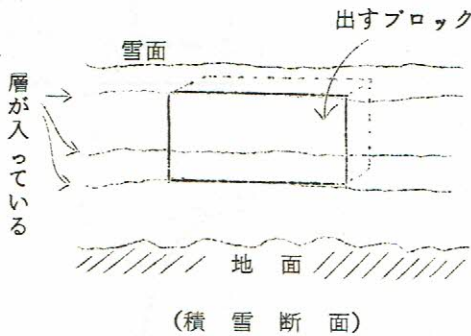
一、雪質の適した 平面を見つける

本来マイナス十五度前後が一番良いのですが、雪質さえ合えばこれに限りませんが、ザラメ雪や粉ばかりの雪ではどうにもなりません。一番良いのはくっつく雪で雪玉になりざりやすい雪と言う事になります。そして積雪は一米以上

(A 図)



(B 図)



① D図のように造ろうと思う大きさにブロックを並べます。その際E図のように下になった部分を斜めに少々切ります。これをしないと円筒形になり完成しません。(F図のように普通において後で上部を斜めに切っても良い。)

② 次にG図のようにブロック四ヶ目位まで斜めにカットします。

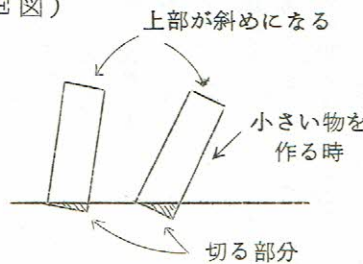
③ 二段目はそのカットされた場所から始まります。H図

④ このように渦巻き状に積み上げ本来の大きさのブロックですと六段階で完成となります。

(F 図)



(E 図)



(D 図)

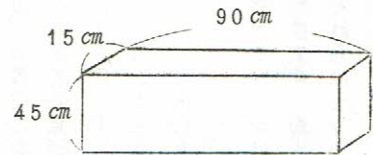


が理想となりますから時季としては冬真っ盛りが一番良い。又一定のブロックを切り出すために一面同じ質の雪である事が望ましい。たとえばめまぐるしく風向の変る場所は雪質が一定しないので、地形的、気象的、山の高度など観察力を働かせる事になります。二、ブロックを切る

場所が決まったらその建てる場所の近くでブロックの切り出しをします。切り方はただ四角い雪の塊を造るのでは

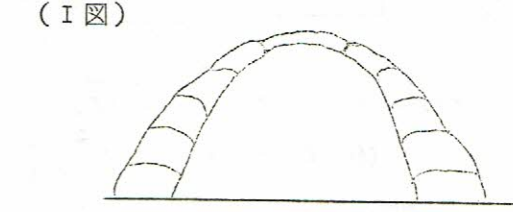
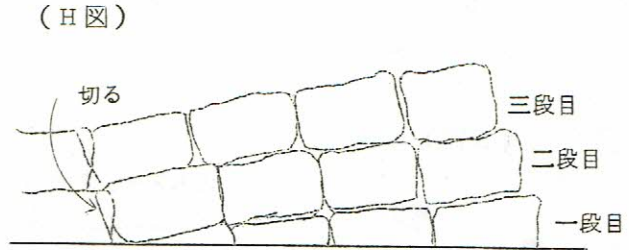
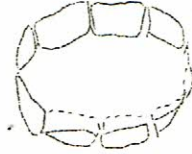
なく縦切りにします。雪洞としては冬真っ盛りが一番良い。ロックのように足で雪をかためる事もできません。雪をそのまま使用しますが、A図のように雪面に穴を開けてそこからノコギリで切って行きます。意としまして、ブロック作業の時に角が欠けた時はノコギリできちんと切って角をつけない。要は丁寧な切り出しが丈夫なイグルーになります。もちろんスコップで切り出した物は使い物になりません。

(C 図)



三、ブロック積み

すが、大きさによって変って
 ⑤ I図のように上に行くに従
 ってブロックの厚さが薄くな
 っていくのが望ましい。
 ⑥ 中に一人積む人、外で補助
 一人で胸の高さを越えたら入
 口をノコギリで切ります。そ
 して最後に少々大き目の薄い
 ブロックを切り上に載せます。
 ⑦ 出来上がったらブロックと
 ブロックの間など穴があっ
 たら中から補修、風向きによ
 って入口にブロック積み、ス



コップがあれば粉雪などをか
 けて完成です。
 ブロックを切る人、運ぶ人、
 積む人と人員をうまく分けて
 (これは山の常識ですが)か
 ければ三〇分〜一時間で出来
 ます。雪洞については良く馴
 れている新潟の岳人ですが、
 イグルーについては一部の人
 を除くとまったく研究されて
 ないようです。場所、時季に
 よっておいに利用されるべ
 きものと思えますし、雪洞を
 掘るに際しても利用されるべ

き利点が随分とあり今後の研
 究課題になると思えます。
 未熟な私の報告では何かと
 わかりにくい点があると思わ
 れますので、五十嵐篤雄氏、
 鈴木敏雄氏、藤井信氏、坂井
 厚氏、三富一弥氏、平田大六
 氏が同行されております故、
 お聞きいただければ幸いです。

昭和五十四年十月六、七、
 八日、県山岳協会親睦登山と
 日本山岳会支部長会議が私共
 佐渡において開催されました
 ことに對し関係各位の皆様方
 に厚くお礼申し上げます。
 残念ながら山歩きは天候不
 順なる秋の長雨にたたられま
 して出来ませんでしたので、
 又の機会の楽しみとしていた
 だきたく、この場を借りました
 て佐渡の山に對する私の考え
 をのべてみたいと思えます。
 一〇〇万観光と言われて久
 しい今日、佐渡の山を歩く者
 は「佐渡の観光開発調査報告
 書」(四十九年四月)、によ
 りそれらの山城も限られたも
 のでしかありません。
 佐渡観光のメインは、名所
 旧跡、芸能文化、海岸景勝で
 あり、それらにマッチした立
 体的な山岳観光が叫ばれてい
 る。山岳に関する考えは佐渡の

親睦登山から

佐渡山岳会 藤井 与 嗣明

ますが、具体的な施策は計ら
 れてはいず、佐渡の山の越な
 る箇所も多くは車道が開通し、
 大佐渡、小佐渡の主稜線が自
 然探勝的な計画のもとに林道
 が開通し、観光スカイライ
 ンの期待が高まっているのが
 現状であります。
 佐渡発展の要が開発や観光
 であることはもちろんであり
 ますが、佐渡発展を阻害する
 要因を取り除くことこそ大切
 であると思えます。その中で
 大きな問題は、過疎による人
 口の老令化、島内外の交通網
 (又は流通機構)の不整備、
 第一次産業の伸び悩み、島民
 意識の後進性、行政の立遅れ
 があげられ、これらが佐渡開
 発及び観光の伸び悩みとなっ
 ているように思われます。そ
 して佐渡の発展、観光は島民
 の大きな問題でもあります。

持つ自然性を大切にしていた
だきたいと思えます。佐渡の
山の特色は芝草原に代表され
る牧歌的風情であると言えま
しょう。

評議員会報告

芝草原は日本海から吹きつ
ける風蝕現象と放牧によるシ
ラバの踏みつけ及び食草によ
って保たれていることです。
ひと昔前までは大佐渡にお
いてはいたる所で放牧されて
いましたが、今はそれらの山

うに考える。私共佐渡山岳会
は島民の山岳に対する意識向
上のため近年自然探勝会や島
民登山会を開催し多くの参加
を呼びかけている。佐渡の山
に關心を持ち歩いて下さる仲
間に適切なアドバイス下さる
ことお願いいたします。

いまでも大きな変化が見られ
ます。
佐渡の山岳そのものを観光
に結びつけるには貧困である
かも知れませんが、しかし立体的な観光を呼ぶとき山岳をお
いては考えられず、開発と保
護をわきまえた自然探勝コー
スやレジャー施設、これらに
結びつく一次産業に力を入れ
る必要があると思えます。
佐渡は自然的環境に恵まれ
過ぎていての傾向にある。それ
が島民意識の後進性であるよ

① 加盟団体の分担金 加盟山岳会会員数	新 分担金の額	旧 分担金の額
20名まで	6,000円	4,000円
21名より50名まで	7,000円	5,000円
51名より100名まで	8,000円	6,000円
101名以上	10,000円	8,000円
② 遭難対策基金	上の各項1/2宛	

協会・行事・活動報告

- 新年会 一月二〇日(日) 大雪で危険を為中止
- 新潟市きなせ亭 四月二〇日 国体選手選会場下見
- 七十四名参加
- 冬山講習会(菅名山)別記 新潟市 役員七名参加
- 理事会 三月一日 国体県予選会
- 五泉市猿和田公民館 五月三日~五日
- 十名参加 新発田市二王子山塊
- 理事会 三月三〇日 百三十名参加
- 長岡市今朝白荘 五月十八日 国体選手選考会
- 十四名参加 欠席委任七名 新潟市井口宅 十二名参加
- 国体審判員打合せ会 四月十三日 第二十二回自然公園大会打合せ 五月二四日~二五日
- 新潟市新潟会館 三十四名参加 妙高高原町 十七名参加
- 評議員会 別記 〇日山協総会 五月二五日
- 〇全日本登山体育大会 東京 鈴木理事長参加

第22回自然公園大会のご案内

自然保護部会

標記の大会が本年八月妙高
高原町に於て環境庁、新潟県
等の主催に於て開催されるこ
とになりました。大会の登山
部門を新潟県山岳協会が担当
します。

することになり、全国より多
数の岳友、先輩各位をお迎え
し、盛会裡に開催するべく全
力を上げて準備を進めており
ます。

つきましては「自然に親しむ運動」の推進と、全国岳友の久々の親睦友好の祭典として盛り上げるために、各団体におかれましては会員に周知下され、多数の参加をお待ち申し上げます。

記

期日 昭和五十五年八月六日

(水)～(木)二日間

会場 上信越高原国立公園

妙高高原町笹ヶ峰

交通 国鉄利用の方……妙高

高原駅より大会専用バス

(無料)を御利用下さい。

自家用車利用の方……駐

車場に限りがありますの

で、杉野沢案内所で指示

を受けて下さい。

受付 笹ヶ峰式典場で開設し

ています。八月六日 十

二時～十五時迄

宿泊 八月六日 笹ヶ峰キャ

ンプ場泊り(寝具不用)

装備食料 夏山登山にふさわ

しい装備。主食は主催者

で準備するので副食のみ

各人準備下さい。

費用 最寄駅より妙高高原駅

迄各自負担、その他バス、日程 第一日(八月六日) 宿泊、食料は一切無料。 申込及び照会連絡先 六月三〇日迄

長岡市学校町一の十二の

二十三 室賀輝男方

新潟県山岳協会宛

☎〇二五八三二一〇四二八

第一回北信越

国民体育大会の案内

今年度から日体協の肝いり

で標記大会が生まれました。

従来ブロック国体を統一整

備し、競技志向の強い現在の

国体を「国民スポーツの祭典」

という本来の姿にもどそうと

する考えがあり、参加者の幅

が広いブロック国体を実現し

たわけです。だれもが参加で

きる「開かれた国体」への第

一步といえるでしょう。

この大会は北信越五県と各

県体協、県教委の共同主催。

開催地は富山、長野、石川、

新潟、福井の順で持ち回りで

す。

ニ会場 富山県大山町 極楽

坂周辺

集結地 山野スポーツセ

ンター

縦走・踏査 極楽坂山及

び山野スポーツセンター

周辺 富山県立山町

登攀 雑穀谷

ニユースが発行される頃は、

県選手も決定されていると思

われます。頑張って競技に参

加され、第三十五回栃木国体

へ足を伸ばしてもらいたいと思

います。(国体部会)

おめでとうございます

名誉 一種

指導員合格

名誉指導員

井口 正男

(新潟県山岳会)

一種指導員

安野 正弘(高体連)

両氏には今後、協会発展

の為、県下岳人の指導、安全

登山の普及等にご尽力下さり、

活躍されることを期待いたし

ます。(杉原八百樹)

新会員紹介

朝路の会(会員二十名)

見附市島切窪五五八高橋方

☎〇二五八六一一三八九五

代表者 浅野 巨寛

あとがき

月日が流れるのは早いもので、協会ニュース一号を発行して満五年が過ぎました。その割に号数がのびていないのは担当の不徳の至りと思っております。協会会員の「コミュニケーション」的なもの、として出発したわけですが、ここで初心に戻って努力して行く所存です。

内容につきまして、ご意見、ご希望がありましたら協会事務局迄ご一報下さい。なお各会員の投稿もお待ちしておりますので宜しくお願い致します。